

お祝いの言葉

山田小学校校長 福井 信治

山田小学校は、明治12年（1879年）交野郡田口村において創立され、大正15年（1926年）に現在地に移転しました。今年で創立140年になる歴史ある学校です。140年という歴史に思いを致す時、今日の山田小学校を作り上げてこられた多くの保護者の皆様、地域の皆様、そして歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様のご尽力に、心より敬意を表するとともに、厚く感謝申し上げます。

この間の卒業生は7,547名を数え、各方面で活躍されています。中には曾祖父の代から4代にわたり山田小学校に在籍されているご家庭もあります。たくさんの方々から愛されてきた山田小学校の記念すべき年に、保護者の皆様、地域の皆様とともに、喜びを分かち合えることを大変嬉しく思います。

本校は、来年度より始まる新学習指導要領で求められている資質・能力を育むため、『あいeye合い』（「あい」は、挨拶の「あい」、「eye」は、目を見ての「eye」、「合い」は、ふれ合いの「合い」）を合言葉に、「学びに向かう力を育む授業づくり」と「豊かな心の教育の推進」を重点課題とし、「思いやりのある児童」「最後までやりぬく児童」「自主的に行動できる児童」の育成を教育目標として教育活動を進めています。教職員一同一致協力し、一步一步確実に邁進してまいります。今後とも、一層のご支援ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本記念事業の推進にご尽力くださいました多数の皆様方に厚くお礼申し上げます。

山田小学校PTA会長 芦田 元孝

この度は、枚方市立山田小学校の創立140周年を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。今回周年誌を作るにあたって、過去の周年誌や資料を見ると、改めて山田小の歴史の長さに驚かされます。また、子供たちのお父さんお母さんだけでなくお爺ちゃんお婆ちゃんも山田小の卒業生という方も多く、各世代の支えによって続いてきたんだと感じております。

私自身、この間二十数年ぶりに母校の小学校へ訪れる機会がありました。周辺の景色はだいぶ変わっていましたが、当時の通学路はそのまま、見覚えのある桜の木がまだ残っていたり、よく寄り道をした商店がまだ営業していたりと、懐かしいものを見つけながら学校に近づくにつれ、心が小学生に戻っていくような気持ちになりました。

山田小も90年ほど前に今の場所に移転しています。当時の景色からは大きく変わっているとは思いますが、その中でも変わらない景色や建物が皆さんの中にあるのではないのでしょうか。

今の山田小の子供たちにも思い出の景色を心に残してもらい、大きくなってからも山田小の記憶を思い起こしてもらえるように、諸先輩方がたくさんの熱意と苦勞を積み重ねてこられたこの歴史を、学校・地域・保護者の「チーム山田小」でしっかりと受け継ぎ、次の世代へと渡していければと思っております。

今回節目の年を迎えて、歴史ある山田小学校に関われたことを感謝いたします。

山田小学校140歳のお誕生日おめでとうございます。

山田校区コミュニティ協議会会長 東郷 宏司

令和という新しい時代の最初の年に枚方市立山田小学校が創立140周年を迎えられました事、山田校区コミュニティ協議会を代表致しまして心よりお祝いを申し上げます。

明治12年、市内で8番目に開校され今日までの140年間、伝統ある大きな歴史を築く事が出来たのは本校に携わって頂いた歴代の教職員の方々、保護者や地域の先輩諸氏の皆様のご努力の賜物と改めて感謝申し上げます。この伝統ある歴史を今後私たちが引き継ぎ150年・200年と更なる歩みを続けていきたいと思っています。本校は今年からコミュニティスクールに参画し、「地域に開かれた学校」から「地域と共に」を目指して取り組まれています。近年、少子化問題が取り沙汰されていますが、こういう時期こそ子ども達を地域で守り育てる良い機会だと思えます。この地域には140年の歴史のお蔭で卒業生の方々がたくさんおられます。児童と地域の高齢者の方々が一緒に授業を受けたり「道徳の先生」として若い先生方のお手伝いができれば児童も楽しいでしょうし、これこそがコミュニティスクールの本質と私は考えています。これからも学校と協力しあいながら「山田小学校は地域の拠点で無くてはならないもの」を念頭に次世代に引き継いでいこうと思えます。